

発行所 公益社団法人 滋賀県臨床検査技師会  
 事務局 大津赤十字病院 病理部 大津市長等1-1-35  
 発行責任者 入野 保 滋賀臨技ホームページURL <http://www.samt.jp/>



◇目次◇

近臨技の発展的解消&血圧測定について.....	2
夏本番、シャワークライミング.....	3
平成24年度新入会員研修会を終えて.....	4
新入会員研修会に参加された皆さんから一言.....	5
平成24年度 日臨技関西支部医学検査学会に参加して.....	6
輸血・移植部門実技講習会を開催して/輸血・移植部門実技講習会に参加して.....	8
平成24年度第1回保健医療従事者研修会に参加して.....	9
平成24年8月定例理事会 議事録.....	10
平成24年9月定例理事会 議事録.....	10
平成24年度 日臨技関西支部 臨床化学研修会の案内.....	12
12月の研修会のお知らせ.....	13
会員動向/会議室移転に伴うお願い.....	13
薬物乱用防止ポスター.....	14

## 近畿臨床検査技師会の発展的解消について（要旨）

近畿臨床検査技師会 会長 富永博夫  
(平成24年9月1日付)

近畿臨床検査技師会は昨年12月1日の日臨技関西支部の発足に合わせて、従来の近臨技を解消して「新近臨技」を発足させました。「新近臨技」の設立は、近畿7府県地臨技の結束と学術活動の維持、学会の3団体同時開催の存続を目的としてきました。

今年4月、日臨技会長選挙において新しい執行体制が発足し、学術活動の活性、地臨技との組織強化、職能団体としての渉外活動の強化等が図られる組織に生まれ変わりました。このことで、近畿地区内での学術活動等の「新近臨技」が目的としていた事項が叶うこととなります。従いまして、組織、活動、人事等が2つの団体が行うことの不合理性があるため、現「新近臨技」組織をこの2年以内に発展的解消を行い、日臨技関西支部として一本化を図るようにしたいと考えています。今後、日臨技関西支部として、近畿地区内で培われた「和」を大切に、斬新な発想の基に行われてきた諸活動を存続するための支部組織運営を行っていただきます。

皆様方におかれましては、これらの状況をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

近臨技と日臨技関西支部の状況についてお知らせします。

### ●新近臨技の組織、運営は

7府県技師会の会長、事務局長、学術部長の21名で構成。

資金は府県からの拠出金（会員数×300円）平成24年度から拠出金は免除。

### ●支部の組織、運営は

7府県技師会の代表者の7名で構成。支部長は代表幹事

資金は支部活動費、研修会補助金、学会補助金等。

近畿7府県の研修会に関しては従来どおりの会員参加費となります。

(全文は当会HPに掲載しています)

## 臨床検査技師による血圧測定について

公益社団法人滋賀県臨床検査技師会 会長 入野 保

このたび、一般社団法人日本臨床衛生検査技師会会長より、検査に伴う血圧測定を臨床検査技師が行うことについて、厚生労働省医政局医事課長あて文書にて照会し回答を求めたところ、自動血圧計による測定については原則として医行為ではないとのことから、臨床検査技師による実施が可能である旨の回答を得たとの周知がされました。

現在、医療の場においては医療関係職がその専門性を十分に発揮できていないとの指摘がなされておりますが、今回のこの回答により、臨床検査技師がこれら関係職の効率的な役割分担の一助となるとともに、業務拡大につながるものと期待しております。

今後も、当会としてはチーム医療の推進、効率的な役割分担に向けて取り組んで参りますので引き続きご協力のほどお願いいたします。

(日臨技からの通知文は当会HPに掲載しています)

# 夏本番、 シャワー クライミング

厚生部  
松村正樹



8月5日、梅雨明け間もない鈴鹿山系の溪谷へ厚生部事業「シャワークライミング」を昨年に引き続き二度目となる体験をしてきました。

今回もプロガイド“パワーゾーン”が企画運営するツアー参加です。参加者は17名、当日は天気もまずまずで木々の間から時折照らす日差しはすでに夏本番といったところです。

まずは装備。ウエットスーツにライフジャケット、マリンシューズにヘルメット。今回は命綱もあり、ハードな体験となりそうです。一通り準備が済むと、目的の溪谷までは車移動です。急勾配の山道、枝が張り出し舗装も悪い。秘境に近づくにつれ、気分も高揚してきます。

入溪ポイントにつくと更にテンションは上がり、他のパーティと奇声を発しながら写真撮影。あげばよ～。

うだるような暑さの中、山道を歩き、ウエットスーツの中は汗だく。さあ、やっと水に飛び込みます。

溪谷の澄んだ水を全身で受け止めると、その刺激的な冷たさに皮膚も脳も心臓もクラッ。風呂上りのビールよりはるかに効く！大きな岩を登り、川の流れに逆らい、木々の中を歩む。そして大量のシャワーを顔面に浴びつつ滝をよじ登る。

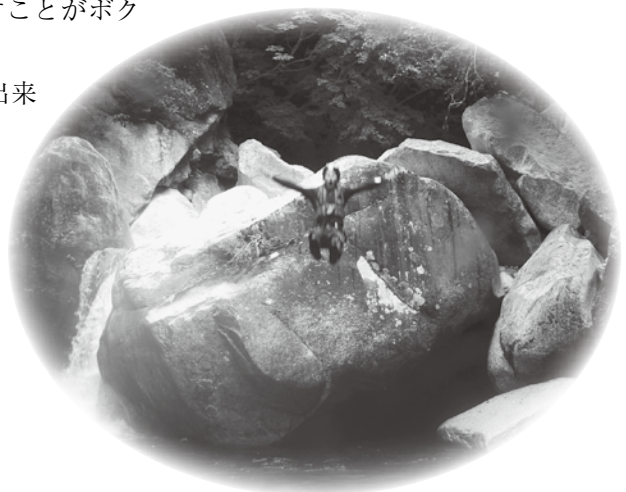
木漏れ日の中、緩やかな流れの深い淵で大の字になって浮かんでいると、その溪谷の中に溶け込んだようです。

参加者全員、その顔は穏やかな喜怒哀楽に溢れ、日常から完全にトリップしたかのようです。もう長いこと厚生部を担当していますが、この表情を引き出すことがボクの狙いであり、使命だと考えています。

参加者のみなさんお疲れ様でした。リフレッシュ出来ましたか？体は大丈夫ですか？

厚生部はこれからも会員の一時のオアシスとなるよう、事業を続けてまいります。

今年度は更に乗馬体験やロッククライミングなどの企画も考えていますので、たくさんの参加をお待ちしております。



# 平成24年度新入会員研修会を終えて

組織部理事 株式会社メディック 山 村 満

例年開催されております新入会員研修会は、今年度で23回目を数え平成24年9月8日（土）草津市立まちづくりセンターにて、新入会員（9名）の皆さんに参加頂き開催致しました。

新入会員研修会の目的は、『技師会への理解を深め、会員及び役員相互の交流を通じて、情報交換を図り今後の技師会活動への積極的な参加を得る。』ということが目的です。

例年通りですが、今年度も会長挨拶、自己紹介、各部にて定款、組織概要、精度管理、生涯教育等時間的制約がありながらも各事業内容の説明を行い又、人権学習としてDVD鑑賞も併せて実施いたしました。その後、懇親会にて親睦を図らせて頂きました。新入会員の方も研修会では真剣に聴講され、懇親会では大いに飲まれ和やかに理事の方々と交流を深められ、有意義な研修会が開催できたのではないかと思います。

今回参加された皆さんの感想には前向きな言葉（研修会に参加された皆さんからの一言）が多くあり研修会が意義あるものであったと思います。新入会員の方には研修会で感じた気持ちを忘れず日々の業務に励んで頂き、大きく飛躍されることに期待いたします。

最後に研修会開催に当たりご協力頂きました会長はじめ理事、監事の方々、参加頂きました新入会員の皆様にお礼を申し上げます。



❦❦❦❦❦❦ 新入会員研修会に参加された皆さんから一言 ❦❦❦❦❦❦



**古川 玲奈**

(滋賀医科大学医学部附属病院)

今回、滋賀県臨床検査技師会新人会員研修会に参加させていただき、その活動内容や人権問題について多くのことを学ぶことができました。

これから、この一員としてがんばりたいです。



**國本 悟史**

(滋賀保健研究センター)

これから技師会などに参加して、自分の知識を深めていき、いつかは発表する立場になっていきたいです。



**白川 綾香**

(滋賀医科大学医学部附属病院)

人権のビデオの内容よりも、山村(理事)さんの労働と仕事についての話の方がこの先勤務する上で、大切にすべき内容だったと思います。



**木下 愛**

(滋賀医科大学医学部附属病院)

今回、新人会員の研修会に参加するにあたって、自分の中ではとても緊張した思いがありました。

ですが、実際参加してみると、役員の方々にとっても優しくしていただき、リラックスして研修を受けることができました。



**西川 達也**

(滋賀医科大学医学部附属病院)

今まで技師会、技師会とは言っていたものの、実際にはどのような仕事をしているのか全く知らなかった。今回の研修会を通して、技師会の役割を理解することができた。技師会に入ったからには、滋賀県民の役に立てるように頑張りたい。



**柴田 紗希**

(市立長浜病院)

技師会では、様々なことを企画されて運営されているのだということがよくわかりました。技師会の会員だけでなく地域の方々にも技師会について知っていただける企画などもあったりしてすごくいいなと思いました。

私もいろいろな行事や研修会などに積極的に参加していこうと思います。



**稲垣 陽子**

(大津赤十字病院)

本日は研修会に参加させていただきありがとうございました。

滋賀県の技師会のことについて知ることができたとともに、これから向上心をもって働いていこうと思いました。

人権のDVDからも、人権についてもそうですが、仕事についてもただ作業として行うのではなく、疑問や感性をもって励んでいきたいと思っています。



**虎谷 貴志**

(大津赤十字病院)

仕事をしていく上で“相手の立場を考える”ことは大切だと思った。自分も思い込みが強い方なので、このビデオをみて損をすることだと感じた。

病院では病気になり気持ちが弱くなっている方が多くいるので相手の事を考え、その上で自分の責任が全うできるような臨床検査技師を目指したいと思った。



**國澤 りりほ**

(近畿予防医学研究所)

滋賀県臨床検査技師会の事について学び、技師会の大切さや重要性を感じました。

私自身、臨床検査技師として、責任を持って仕事をするためにも、又、地域の医療向上のためにも、積極的に参加したいと思いました。

## 第52回関西医学検査学会に参加して

常務理事 岩井 宗 男

台風の影響で真っ只中、平成24年度日臨技関西支部医学検査学会がテーマ「新たなる旅立ち～Learning & Healing～」のもと、和歌山県の白浜町で開催された。

当会の守安事務局長の車で入野会長、竹島副会長、中村学術部長とともに3時間過ぎの行程を経て、会場の南紀白浜コガノイベイホテルに10時30分過ぎに到着した。到着するや小雨がふりだしてきた。天候が少し気になったが、会場内受付には多くの参加者が集まり出し、列をなしていた。私は今回、関西支部医学検査学会の参加とともに日本臨床検査医学会近畿支部・日本衛生検査所協会近畿支部学術集会にも参加すべく白浜にやってきた。和歌山での開催準備当初、3団体の開催がややぶまれたが、なんとか3団体開催が継続されたことは喜ばしいことである。今回、検査医学会のCPCに参加し、一つの症例よりいろいろなデータを読み解くことにより、わかってくる呈示症例の様相が大変興味深く聞き入っていた。司会者の進行もよく、テンポよく、歯ぎれもよかったし、臨床医の意見等他職種側の意見も聞いたのも、聞く側として参加しやすかった。久しぶりにCPCに参加したが、総合的にデータを読み解くこの会はいつも大変ためになる。皆さんも参加をお勧めします。3団体開催ならではの交流であった。今後も3団体の開催の学会を希望する。CPC参加後は近畿同士でありながら、近くて遠い和歌山（和歌山の方もまた、滋賀は遠いと思っています）のスタッフと意見交換し、また、展示会場を見て

過ごした。その後、私の大好きな、学会懇親会に参加し、多くの方々と交流を深め、(公社)滋賀県臨床検査技師会の理事として各府県の実情等の意見交換をおこなった。今回の懇親会では先般の会長選挙で会長に当選された日本臨床衛生検査技師会の宮島会長も参加されており、今後の日臨技の啓発活動、学術活動等において少しほろ酔いの中で宮島会長に期待の大きいことを伝えた。(どんな内容だったか少し記憶がありません。)宮島会長へ期待するものが大きく、多くの懇親会参加者が宮島会長と意見を交換し、その後、記念に写真を撮っていたのが印象的であった。また、今回の懇親会は従来の役員だけの懇親会でなく、一般会員も参加の懇親会であり会場は大変な盛り上がりで楽しい時間であった。今後もこのような会が続くことを期待したい。

翌日、昨日のアルコールが少し身体に残る中、大変心配していた台風が和歌山に昼頃、直撃と聞き、私の学会参加は本日の朝で終え、朝より帰宅の途についた。いろいろな交通機関が止まる中、不思議と止まる寸前にすべてに間に合い順調に帰宅した。学会は予定通り最後まで執り行われ、参加者975名と伺った。今回の台風の影響で帰宅できなかった会員もおられたと聞く。今回、CPC等で勉強させていただいたほか、自然の驚異を思い知らされた学会でもあった。

当初学会場が和歌山県の白浜町と伺ったときは、遠いイメージであったが、今回参加し、道の整備が行き届き、会場までが3時間過ぎの行程で



あり、車での白浜町への旅をお勧めしたい。

最後に今回の学会でご尽力された、和歌山県臨床検査技師会の皆様はじめ関係者の方々に深く感謝いたします。また、滋賀から参加されました当会の会員の皆様、ご苦勞様でした。無事帰れましたか。

来年3月3日(日)は第35回滋賀県医学検査学

会が長浜ロイヤルホテルで開催されます。演題のエントリーをよろしく願いいたします。

今回はいつになく楽しい学会であった。

(最後に今回の懇親会はお酒の勢いもあり、大変楽しく参加させていただきました。失礼なことがありましたら、お許し下さい。)

## 日臨技関西支部医学検査学会に参加して

日野記念病院 清水陽子

平成24年9月29、30日白浜にて日臨技関西支部医学検査学会が開催されました。

近畿臨床検査技師会によるチーム医療実践セミナーに参加するため、台風17号の接近を気にしながら白浜に向かいました。

学会会場のコガノイベイホテルは海が見える絶好のロケーション。露天風呂もあり、学会テーマの「新たなる旅立ち」～Learning & Healing～の通りすっかり癒されました。

二日目、朝食を食べにレストランに行ってみると、「特急は8:28をもって運休します」と張り紙が。チーム医療実践セミナーは午後開催。帰れなくなるかもしれない……と少し不安になりました。さらに午後には普通電車も運休になったとアナウンスがあり、ホテルには延泊対応デスクが設置されました。中止になるかもしれないと話していましたが、結局予定通り開催されました。参加者はやはり少なく、開催地の和歌山の実務委員さ

んも加わっていただき、23名。窓の外はものすごい強風で、窓をたたく雨音もそれは恐ろしいものでしたが、『血糖コントロール不良の患者にどう向き合うか—ドロップアウトを防ぐ秘策—』という講演のあと実際の症例について『ケーススタディから学ぶ療養指導』として、どのように療養指導する方法がベストなのか、各グループでディスカッションしました。

終了時間は予定通りで、ちょうど台風が直撃しているタイミングでした。

帰りは同じセミナーに参加していた方に同乗させていただいたのですが、帰りの高速道路は強風にあおられ、道路の真ん中に折れた木が飛んでくるようなとてもスリリングなドライブでした。

セミナーも得る物が多かったのですが、台風のおかげでとても印象に残った学会になりました。参加された皆様、お疲れ様でした。



## 輸血・移植部門研修会を開催して

社会保険滋賀病院 吉田 正 明

輸血・移植部門では、新たに輸血検査を担当される方を主たる対象者として、春から夏にかけて基礎講習会と実技講習会を毎年企画しています。本年も過日7月22日に、会場に長浜バイオ大学実験室を拝借し、実技講習会を開催しました。

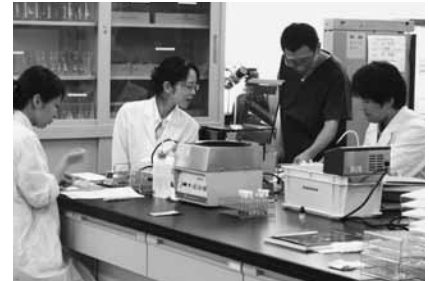
この実技講習会は、スタンダードな輸血検査手技を学ぶことが出来ると各施設からご好評を得て、本年も募集定員を超える申し込みを頂戴しました。定員に達した以降のお申し込みに対し、お断りのお電話を差し上げる際には申し訳無い思いで一杯です。しかし、被検血液の作製準備の都合上で、多くの受講者をお迎えすることが出来ません。例年、案内文配布から7～10日で定員に達しますので、来年度に受講をご希望される際にはお早めの申し込みをお奨め致します。

13名の受講者をお迎えした初級コースでは、2名の受講者に対してスタッフ1名が指導にあたります。開講直後は、受講者の皆様に緊張の表情が窺えますが、熱心な指導の中に気さくな雰囲気を持つ指導スタッフ達が、すぐにアットホームな講習へと導いてくれます。

2名の受講者をお迎えした中級コースは、ご自身の手技を再確認して頂く場として昨年度より始めました。受講者同士がお互いの手技を客観的に見て評価し合い、最後に経験豊かな指導スタッフを含めてディスカッションする形式としています。

講習内容が実務のお役に立っていることを願って止みませんが、受講者同士や指導スタッフとの間に繋がりを作れたならば尚幸いです。輸血に関して疑問や悩みがございましたら、出来た繋がりを最大限に活用して、遠慮無くご連絡下さい。

最後になりましたが、試料作製及び分注の事前準備作業にご尽力賜りました関係者の皆様、会場をご提供賜りました長浜バイオ大学様、ありがとうございました。今後とも宜しくお願い致します。



## 輸血・移植部門実技講習会に参加して

彦根市立病院 西村 好 博

7月22日曜日に開催された輸血検査実技講習会の中級コースに参加させていただきました。中級コースは自分を含め2名の参加者に対し、2名の実務委員の先生についていただき、お互いの手技を確認しディスカッションするという形式の実習でした。

手技を見る、または見られる機会というのは、非常に貴重な経験だと思います。新人でもなければ、検査の手技を詳細に見られることもなく、気づかぬうちに自己流となりがちです。ましてや、同じ施設の技師同士であれば、施設特有の手技などに気づくことはできません。今回のように、認

定輸血検査技師の先輩方に見ていただき、他施設の受講者の手技を見せていただくことで、当たり前のように行っていた操作の妥当性を考えたり、取り入れていきたい操作法を知るきっかけとなりました。

実技のあとには、検査結果に対する解釈や報告方法を実務委員の皆様とディスカッションする機会を作っていただきました。検査結果から考えられる原因を模索したり、臨床へのわかりやすく的確な説明の方法などをアドバイスしていただきました。

今回の研修会には、輸血検査技師認定試験の実技指導を目的として参加させてもらったのですが、試験の結果如何に関わらず、他施設の輸血担当技師の方々と繋がりを持てたことが今後の輸血検査業務において何よりの収穫だったと思います。

最後になりましたが、ご指導いただいた実務委員の皆様、実習の準備をしていただいた共催企業の皆様にはこの場をもちまして厚く御礼申し上げます。



## 平成24年度 第1回保健医療従事者研修会に参加して

市立長浜病院 坪井 房幸

8月25日に草津市立市民交流プラザで開催されました、第1回保健医療従事者研修会に参加してきました。

今回の内容は、「正しく実践！標準予防策」～アウトブレイクも基本抜きには語れない～と題され、感染予防の基本となる標準予防策を学ぶことを目的に開催されました。

講演は3題あり、まず2つが社会保険滋賀病院で経験されたノロウイルスのアウトブレイク事例と守山市民病院で経験されたインフルエンザのアウトブレイク事例を話され、それぞれの病院でどのような対策をされたのかの講演でした。それぞれの病院とも、発生の経緯をグラフ化したり、発症患者の広がり方を病棟マップで示されたりなど工夫されており、大変分かりやすく聞くことができました。また、アウトブレイクが終息するまで、大変なご苦勞をされたことも伝わってきました。感染管理が叫ばれる中、どこの病院もICDやICNを中心とした感染対策チーム（ICT）が組織され、日々活動しております。私も細菌検査を行う臨床検査技師として、当院のICTのメンバーに入っ

て活動しております。2つの病院の報告から、このようなアウトブレイクが起こった時に臨床検査技師として何ができるのか、考えておく必要があると感じました。

そのあとの講演は、浜松医療センターの松井泰子先生による、「標準予防策」についての具体的な方法と、病原体別の感染対策について教えていただきました。病原体別の感染対策は、実際の活動は病棟ナースが行っており、臨床検査技師が直接関わることは少ないでしょう。しかし標準予防策は、すべての医療従事者にとって不可欠なものです。採血や生理検査以外の部署では、直接患者と接する機会が少ないため、感染対策についてどこか他人事のように思いがちではないでしょうか？私も他の部署にいた時、そう思っていました。病院や医療施設における感染源として、患者のほかに医療従事者も多くを占めています。自分自身を感染から守るだけでなく、患者を感染から守るためにも正しい標準予防策を身に付けることは必要だと感じました。

土曜日の昼からということもあり、会場は多くの医療従事者であふれんばかりでした。多くは看護師さんでしたが、臨床検査技師や薬剤師さんなど、様々な職種の方が参加されており、関心の高さが伺われました。この研修を通じて学んだことは非常に多く、今後活かしていきたいと思えます。



## 平成24年8月定例理事会議事録

日 時：平成24年8月2日（木）17：00～18：30

場 所：技師会会議室

出席者：入野保、竹島通、大本和由、岩井宗男、中村勇治、松村正樹、一岡英樹、山村満、坪井房幸、西村精児、清水陽子、花木由季、中井典子、山崎正嗣、守安岳征（監事：立脇憲一）

欠席者：松井まり子、坂口博司（監事）

議 長：入野 保会長

### 1. 会長挨拶

### 2. 報告事項

#### 〈日臨技・近臨技〉

近臨技・関西支部合同会議

日時：平成24年7月16日（月）15時～17時

場所：大阪府医師協同組合東館 4F

内容：日臨技支部長会報告、近臨技・関西支部研修会のあり方

出席者：竹島幹事、守安理事

#### 〈滋賀県〉

### 1. 2012おおつ健康フェスティバル第1回実行委員会

日時：平成24年7月17日（火）14時～

場所：明日都 浜大津2階 介護予防室

内容：おおつ健康フェスティバルの概要等について

- 1) 場所が前回と変更になった（前年、皇子山体育館より浜大津明日都へ変更）
- 2) 技師会は協賛
- 3) 次回打ち合わせは9月中旬

出席者：入野会長 一岡理事

### 2. 年間行事について

平成24年度第1回定期総会 議案書内容に準ずる。

### 3. 協議事項

1. 経費について：事業計画通り進めていく

2. 事務所の鍵の管理について

6本あり保管者を下記の通りとする。

入野会長、竹島副会長、大本副会長、岩井常務理事、中村常務理事、山崎理事

3. 理事会司会の順番について

理事名簿順に行う（議長は入野会長）

4. 滋賀県がん診療連携協議会調整部会の一般市民参加の講演会等に対するインセンティブ付与に関するアンケートについて：調整部会員の岩井常務理事に一任する。

5. その他

・組織部：新人研修会にあたり参加者を山村理事が確認する。

・会員番号の管理：会計から会費支払い情報をお願い、組織部が名簿作成、会員カードを発行する。（組織部でインクジェットプリンター1台購入を承認）

・事務局：PC購入要望（消耗品として、10万以下で承認）

・任意賠償保険：事務担当は厚生部で行う。

・糖尿病療養指導士認定機構より、技師会研修参加時、参加証に技師会会長印の捺印について：捺印することを了解する。情報発信も行う。

### 4. 各部の連絡

学術部：滋賀学会について、次回理事会で協議、10月までには詳細を決定する。

事業部：7/7細胞部会初会合、8月中に細胞部会の試料発送予定。

公報部：年5回滋臨技たよりを発行、次回9月発行予定。

内容は会長・新理事の挨拶および小林先生の叙勲についての文面を掲載する。

生涯教育研修部：年度内に2回実施予定。

年内は12月ごろ予定。希望事業があれば松井理事まで連絡する。

厚生部：8月5日（日）シャワークライミング（17名参加）

組織部：新人研修会について

1) 前年のパワーポイント資料を利用する。（各担当で内容確認）

当日、各部長が説明（各5～6分、計1時間）

2) 人権ビデオ30分放映する。ビデオは守安理事が県より借りる

3) 竹島副会長より精度管理報告書の本を施設あてに事前発送する

4) 再入会者には新人研修の案内はしない。

会計部：領収書は当会の名称入りで、レシートなら上部に記入、明細も記入する。

各部長に会計のファイルを送付済み、これに基づき報告する。

総務部：

1) 第2回「地域医療チームで担う人材育成事業推進委員会」

日時：平成24年8月3日 15時～

場所：滋賀県立成人病センター研究所 会議室

2) 平成24年度 第1回保健医療従事者研修会（当会共催事業）

「正しく実践！標準予防策」

日時：平成24年8月25日（土）13時30分～16時30分

場所：草津市立市民交流プラザ 5F 大会議室

3) 第43回滋賀県公衆衛生学会第1回実行委員会

日時：平成24年8月29日（水）15時30分～17時

場所：のぞみ荘 たけの間

出席者：竹島副会長

議事録署名人 代表理事 入野 保  
監 事 立脇憲一

## 平成24年9月定例理事会

平成24年9月定例理事会

日 時：平成24年 9月 8日（土）13：00～15：00

場 所：草津市立まちづくりセンター 306号

出席者：入野保、竹島通、大本和由、岩井宗男、中村勇治、松村正樹、一岡英樹、山村満、坪井房

幸、清水陽子、松井まり子、中井典子、山崎正嗣、守安岳征（監事：立脇憲一）

欠席者：花木由季、西村精児、坂口博司（監事）

議 長：入野 保会長

**1. 会長挨拶****2. 報告事項****〈日臨技・近臨技〉**

- 「学術組織再構築に関する検討委員会」委員推薦について (依頼)  
関西支部からは 大臨技の高田氏 (生理部門) を推薦する。
- 愛知県臨床検査標準化ガイドラインに対するパブリックコメントについて (依頼)  
「CBCの誤差要因と対策」「医療従事者の健康管理と環境管理」
- 第62回日本医学検査学会案内  
開催日：平成25年5月18日 (木)・19日 (金)  
場 所：香川県
- 関西支部幹事会  
日時：平成24年8月26日 (日) 16:00~18:00  
場所：大阪臨床検査技師会 事務所 (天王寺)  
内容：関西支部研修会について  
近臨技からの寄付金について  
その他  
・研修会等参加費について  
(24、25年度は移行期ということで、大臨技会員のみも参加費などは同額で参可できるように日臨技へ要望する。)  
・近臨技は発展的に解消する方向で (一旦関西支部へ移行する)

出席者：守安理事

- 日本検査医学会近畿支部・日本衛生検査所協会近畿支部企画への協力 (依頼)  
平成24年9月29日 (土) 13:30~ 第5会場 (ホテルコガノイベイ)
- 第52回日臨技関西支部医学検査学会ポケットプログラム配布  
登録会員558名+追加5名 (残り5冊)：事務局
- チーム医療実践セミナーの参加者募集中 (会員へ情報提供依頼)  
当会は技師会ホームページにて会員に啓発する。

**〈滋賀県〉**

- 第2回「地域医療チームで担う人材育成事業推進委員会」(担当：入野会長)  
日時：平成24年8月3日 15時~  
場所：滋賀県立成人病センター研究所 会議室
- 平成24年度 第1回保健医療従事者研修会 (当会共催事業)  
「正しく実践！標準予防策」  
日時：平成24年8月25日 (土) 13時30分~16時30分  
場所：草津市立市民交流プラザ 5F 大会議室  
参加人数：88名 (内当会会員14名+臨床検査技師 非会員4名)
- 第43回滋賀県公衆衛生学会第1回実行委員会  
日時：平成24年8月29日 (水) 15時30分~17時  
場所：のぞみ荘 たけの間  
出席者：竹島副会長  
内容：前回183名参加、57演題  
今回は平成25年2月14日 ピアザ淡海で開催  
特別講演は「健康格差と所得格差」  
演題募集はH24年11月30日まで、発表は7分以内、スライド10枚程度、スライド締め切りは1月18日必着  
技師会に発表依頼あり、事業部で検討する。  
次回会議は12月19日 (水) 大津保健所にて

**事後報告事項**

- 動脈硬化性疾患予防ガイドライン2012年度版 (後援了承済み)  
普及啓発共催セミナーin Shiga (日本動脈硬化学会・MSD・バイエル共催)
- 第41回医療功労賞推薦について (該当者なし)
- 平成24年度結核予防週間 (後援了承済み)
- 当会顧問 富永先生 (病院協会会長) 甲賀病院より叙勲の推薦の関係資料提出

**3. 協議事項**

- 第52回関西支部医学検査学会 表彰と、アシスタントについて
- 今年度の公開講座について  
第1回公開講座 (案)  
日時：平成24年12月1日 (土) 14:00~15:30  
会場：草津市立市民交流プラザ (大会議室)  
テーマ：健診検査データの見方 (仮)  
講師：神頭 徹 医師 (社会保険滋賀病院健康管理センター健診部長)
- 次回滋賀学会について (バーコードリーダーの取り扱いなど)  
平成25年3月3日 (日) 予定  
会場：未定 候補あり
- 平成24年度公衆衛生事業功労者に対する厚生労働大臣表彰 候補者推薦について  
当会として済生会滋賀県病院の坂田氏を推薦と決定する。
- 液状化細胞診 (LBC) の後援協力について (成人病センター依頼)
- 日本医療マネジメント学会 第10回京滋支部学術集会 (後援依頼) について  
テーマ：「三方よしの医療マネジメントを目指して」
- 平成24年度子宮がん検診従事者講習会 (後援依頼) について
- 会員などの訃報に関して
- アフラックの案内 (会員あて：日臨技外)  
入会者が少ないため、団体割引が利かなくなる可能性がある。
- その他  
地区懇を復活させたい：参加人数や予算上の問題で廃止の方向となったので、難しい。

**4. 各部の連絡**

- 学術部…第2回検査研究部門会議を10月5日 (金) に開催 (野洲会議室)
- 事業部…第2回精度管理代表者会議を11月27日 (火) に開催予定
- 公報部…ホームページ委員会を9月15日 (土) 15時より開催  
滋臨技たよりを9月末に発行
- 渉外部…湖南市健康まつり  
日時：平成24年10月20日 9時~15時  
場所：雨山文化運動公園第二体育館  
2012おおつ健康フェスティバル  
日時：平成24年10月21日 (日) 9時~15時  
場所：明日都浜大津
- 厚生部…11月に厚生事業実施予定
- 組織部…本日、新人研修会開催
- 総務部…1) 2012おおつ健康フェスティバル第2回実行委員会  
日時：平成24年9月26日 (水) 14:00 ~

場所：明日都浜大津 3F・健康づくり研修室  
内容：企画及び運営について  
出席予定者：一岡理事

2) 関西支部幹事会・近臨技理事会合同会議

日時：平成24年 9月29日 (土) 12:20~13:20

場所：コガノイベイホテル (和歌山)

出席予定者：入野会長、竹島副会長、中村常務理事、守安理事

3) 平成24年度子宮がん検診従事者講習会  
日時：平成24年11月24日 (土) 14時~17時  
場所：滋賀医科大学附属病院内 検査部カンファレンス室

議事録署名人 代表理事 入野 保  
監 事 立脇 憲一

会誌など送付頂いた団体 (野洲会議室に保管)

	団体名	内 容	
検査技師会	社) 大阪府臨床検査技師会	会誌	
	社) 京都府臨床検査技師会	会誌	
	社) 東京都臨床検査技師会	会誌	
	社) 奈良県臨床検査技師会	会誌	
	社) 愛知県臨床検査技師会	会誌	
	社) 三重県臨床検査技師会	会誌	
	社) 長野県臨床検査技師会	会誌	
	社) 北海道臨床検査技師会	会誌	
	社) 静岡県臨床検査技師会	会誌	
	8月	社) 大阪府臨床検査技師会	会誌
		社) 奈良県臨床検査技師会	会誌
		社) 栃木県臨床検査技師会	会誌
		社) 愛知県臨床検査技師会	会誌
		9月	社) 愛知県臨床検査技師会

	団体名	内 容	
他団体	滋賀県成人病センター	ふれあい heatt	
	公)全国結核予防婦人連絡協議会	会誌	
	公) 滋賀県理学療法士会	会誌	
	日本臨床検査医学会	東日本大震災の活動報告	
	日本衛生検査所協会	会誌	
	公) 結核予防会	複十字 (N o 345)	
	9月	滋賀県成人病センター	リハビリテーションセンター情報誌
		日本衛生検査所協会	会誌
		一社) 滋賀県臨床工学技士会	会誌

\*\*\*\*\*

平成24年度 日臨技関西支部 臨床化学研修会

\*\*\*\*\*

主 催：一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会  
実務担当技師会：一般社団法人 和歌山県臨床検査技師会

テーマ 『データの見える方・考え方』

日 時 平成25年2月3日 (土) 10:00~16:00

場 所 和歌山県立医科大学 生涯教育センター 3階  
和歌山市紀三井寺811-1

定 員 80名

受講料 3,000円 (参加費・テキスト代・昼食代込)

内容

- 9:20~9:55 受付
- 10:00~10:45 講演1「血液ガスのデータについて」  
ラジオメーター株式会社
- 10:50~11:40 講演2「臨床医からみたデータの使い方1」  
和歌山県立医科大学附属病院  
小児科 医師 (未定)
- 11:45~12:35 講演3「臨床医からみたデータの使い方2」  
和歌山県立医科大学 臨床検査医学  
教授 三家 登喜夫先生
- 12:35~13:20 昼食

- 13:20~14:05 講演4「NSTにおけるデータの使い方」  
ニッターボーメディカル株式会社
- 14:10~15:00 講演5「相談のできる検査技師」  
株式会社ファルコバイオシステムズ  
総合研究所 藤本 一満先生
- 15:05~15:55 講演6「日臨技データ標準化事業について」  
天理医療大学 臨床検査学科  
山本 慶和先生
- 16:55~ 閉講式

申込み方法

下記宛にEmailにて、施設名、氏名を記載し、Emailの件名を「H24臨床化学研修会参加申し込み」とし送信してください。

問合せ先

〒641-8510 和歌山市紀三井寺811-1  
和歌山県立医科大学附属病院 中央検査部  
電話：073-447-2300 (内線 2389)  
Email waka.kagaku@gmail.com  
担当：堀端伸行

# 公益社団法人 滋賀県臨床検査技師会 平成24年度12月研修会予定

## 微生物検査分野研修会

○日 時：平成24年12月8日（土）（14:00～17:00）  
 会 場：滋賀医科大学医学部附属病院 2階 検査部  
 細菌検査室  
 連絡先：滋賀医科大学医学部附属病院  
 検査部 重田雅代 Tel 077-548-2607

## 一般検査分野研修会

○日 時：12月15日（土曜）14:00～16:00  
 会 場：草津市立まちづくりセンター  
 連絡先：公立甲賀病院 臨床検査課 藪 真奈美  
 Tel 0748-62-0234

## 輸血・移植検査分野研修会

○日 時：平成24年12月8日（土）（15:15～16:45）  
 会 場：草津市立まちづくりセンター 予定  
 連絡先：社会保険滋賀病院 検査部 吉田 正明  
 Tel 077-537-3101

## 生理機能検査部門研修会

○日 時：12月15日（土曜）15:30～17:00  
 会 場：草津総合病院 9階 あおばなホール  
 連絡先：滋賀医科大学医学部附属病院  
 検査部 藤澤 義久 Tel 077-548-2617

## 会員動向

平成24年10月末現在

### ☆新入会員

氏名	施設名
中 川 美 波	長浜赤十字病院
上 見 小百合	長浜赤十字病院
速 水 亮 一	長浜赤十字病院
森 江理香	医療法人 近江草津徳洲会病院
柴 田 紗 希	市立長浜病院
有 田 奈弥恵	滋賀医科大学医学部附属病院

木 村 菊 美	湖東記念病院
文 山 友 里	株式会社 近畿予防医学研究所
村 西 万里香	自宅

### ☆再入会

氏名	施設名
北 川 ひとみ	近畿健康管理センター

## 事務局よりお願い

会員のみなさま、滋臨技会議室移転に伴い下記間、会議室が利用できません。  
 ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いたします。

(使用不可日)

平成24年12月8日（土）  
～平成24年12月16日（日）

平成12年12月17日（月）より新会議室が  
 利用可能となる予定です。  
 使用方法など詳細は、またお知らせいた  
 します。

**新会議室** 住所：滋賀県野洲市小篠原924  
 MKCビル3F



愛する自分を大切に  
Yes To Life, No To Drugs.

ダメ。ゼッタイ。  
Dame! Zettai!

近野成美



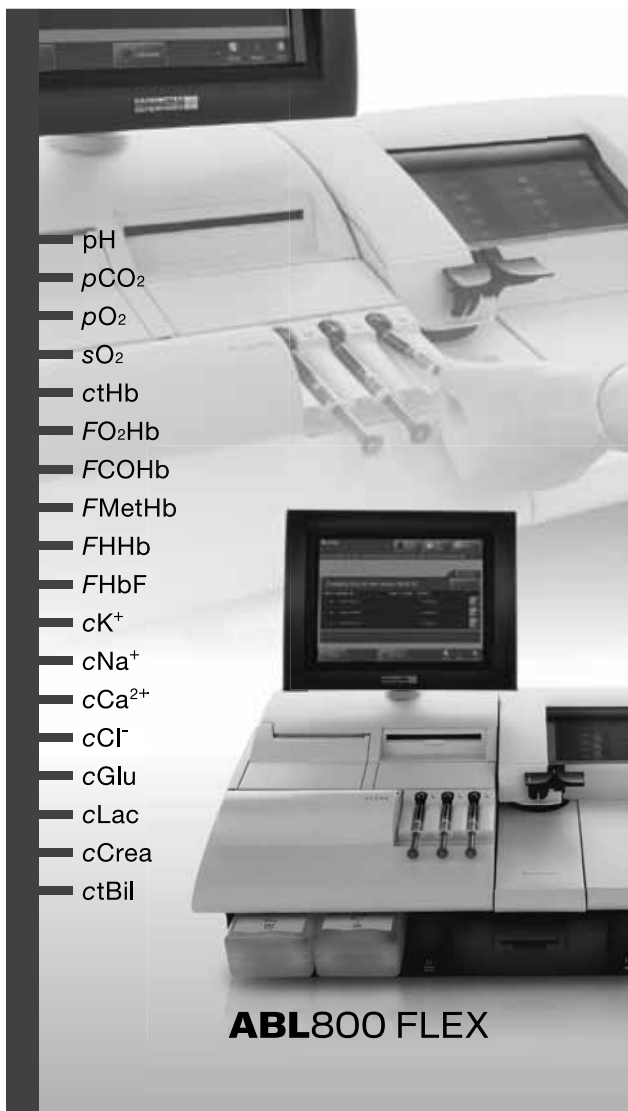
麻薬・覚醒剤・大麻・シンナーの乱用をなくそう。

# 麻薬・覚醒剤乱用防止運動



薬物乱用対策推進会議  
厚生労働省・警察庁・都道府県  
公益財団法人 麻薬・覚せい剤乱用防止センター  
法務省・最高検察庁・財務省・文部科学省・海上保安庁





pH  
 pCO<sub>2</sub>  
 pO<sub>2</sub>  
 sO<sub>2</sub>  
 ctHb  
 FO<sub>2</sub>Hb  
 FCOHb  
 FMetHb  
 FHHb  
 FHbF  
 cK<sup>+</sup>  
 cNa<sup>+</sup>  
 cCa<sup>2+</sup>  
 cCl<sup>-</sup>  
 cGlu  
 cLac  
 cCrea  
 ctBil

**ABL800 FLEX**



**RADIOMETER** 

Troponin T  
 Troponin I  
 Myoglobin  
 NT-proBNP  
 D-dimer  
 CRP  
 βhCG

**AQT90 FLEX**

# Acute Care System

**アキュートケアシステムの迅速かつ簡便なプロセスで  
より多くの時間を患者ケアに**

- FLEXQモジュールによりサンプル認識、混和及び測定の完全自動化
- 正確で安定した結果が得られるクレアチニン測定
- 全血サンプルからトロポニンTとNT-proBNPを約14分で測定
- 血栓症のスクリーニングに最適化したD-dimer測定

最新の製品情報はこちらをご覧ください

[www.radiometer.co.jp](http://www.radiometer.co.jp)

アキュートケア支援サイト

[www.acute-care.jp](http://www.acute-care.jp)

製造販売元

**ラジオメーター株式会社**

本社 〒140-0001 東京都品川区北品川4-7-35  
TEL:03-4331-3500(代表)

# WORLDWIDE PRESENCE

## A Promise for Life

当社は、新しい医薬品、技術、健康管理方法を見出すことを重視し、全世界で展開する広範なヘルスケア関連企業です。  
 当社の製品は、栄養剤や、医療機器によるラボ診断から医薬品治療まで、一連の治療を橋渡しするものです。  
 当社の総合的な製品ラインは、幼年期から老後までという人生そのものの、大切なヘルスニーズに対処します。



### アボット ジャパン株式会社

〒108-6305 東京都港区三田3-5-27  
 URL : <http://www.abbott.co.jp>



### 事務局変更のお知らせ

下記の通り、滋賀県臨床検査技師会の事務局が変更となりました。

**旧** 〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町  
 滋賀医科大学医学部附属病院 検査部  
 TEL (077) 548-2605  
 FAX (077) 548-2605

**新** 〒520-8511 滋賀県大津市長等1-1-35  
 大津赤十字病院 病理部  
 TEL (077) 522-4131 (内線2257)  
 FAX (077) 525-8018



和歌山で開催されました日臨技関西支部医学検査学会は、二日目がちょうど台風の上陸と重なってしまい大変だったですね。

先日、鶏足寺まで紅葉を見に行ってきました。例年より今年の紅葉の色づきは良かったみたいですね。季節はもう冬へと移り変わろうとしておりますが、「かぜ」などひかれませんように、手洗い・うがいをしっかりして感染しないように気をつけましょう。 坪井 記

### 第256号滋臨技だより

2012年12月7日

発行所：滋賀県臨床検査技師会

編集者：坪井 房 幸

竹島 通

松村 正 樹

花木 由 季

印刷：近江印刷株式会社

技師会では、皆様のご意見・ご要望をお待ちしております。

事務局 大津赤十字病院 病理部

TEL 077-522-4131 (内線2257)

E-Mail [moriyasu@samt.jp](mailto:moriyasu@samt.jp)

